

第3期 瀬谷区地域福祉保健計画推進に向けて

瀬谷区地域福祉保健計画の基本理念 みんなでつくる みんなのしあわせ

基本理念 みんなでつくる みんなのしあわせ

瀬谷区では第1期から「一人ひとりの個性や人間性を大切にします」、「一人ひとりが互いに思いやり、地域のきずなを大切にします」、「人と人とのあたたかい関係を大切にします」という考え方を念頭に、「みんなでつくる みんなのしあわせ」を基本理念と定めて取り組んできました。

第3期もこの基本理念を継続し、瀬谷区に暮らしているすべての人にとって、しあわせな地域をつくるために、区民、団体、行政が連携し、みんなで取組を進めていきます。

基本目標を実現するために必要な大切な視点①～⑤

①一人ひとりの個性や立場を尊重すること

一人ひとりの個性や立場を尊重することは、すべての活動において前提となる、とても大切な視点です。この視点を持ちながら、地域での見守り・支え合い、健康づくり、その他様々な取組を充実させていきましょう。

②幅広い世代や人が参加すること

第1期計画の取組が始まって10年が経過し、各地区の取組も盛んになりました。引き続き取組を進めていくためには、若い世代の人や今まで参加していなかった人など、より幅広い世代や人が活動に参加する事が重要です。そのためには必要な情報を把握、共有し、届けるという視点を十分考慮し、取組を進めていきましょう。

③必要な情報を把握、共有、発信すること

支援が必要な人へ適切な支援を届けるためには、何が提供できるか伝えることが必要です。また、支援のための活動に参加できる人へも、活動の内容を的確に伝えることが重要です。必要な情報を把握、共有し、届けるという視点を十分考慮し、取組を進めていきましょう。

④連携を進め、強化すること

地域福祉保健計画の取組は「すべての人」を対象とした「暮らしやすいまちづくりのための取組」です。

地区、関係機関等が情報を共有し、連携を進め、強化しながら課題の解決につなげるという視点を基に取組を進めます。

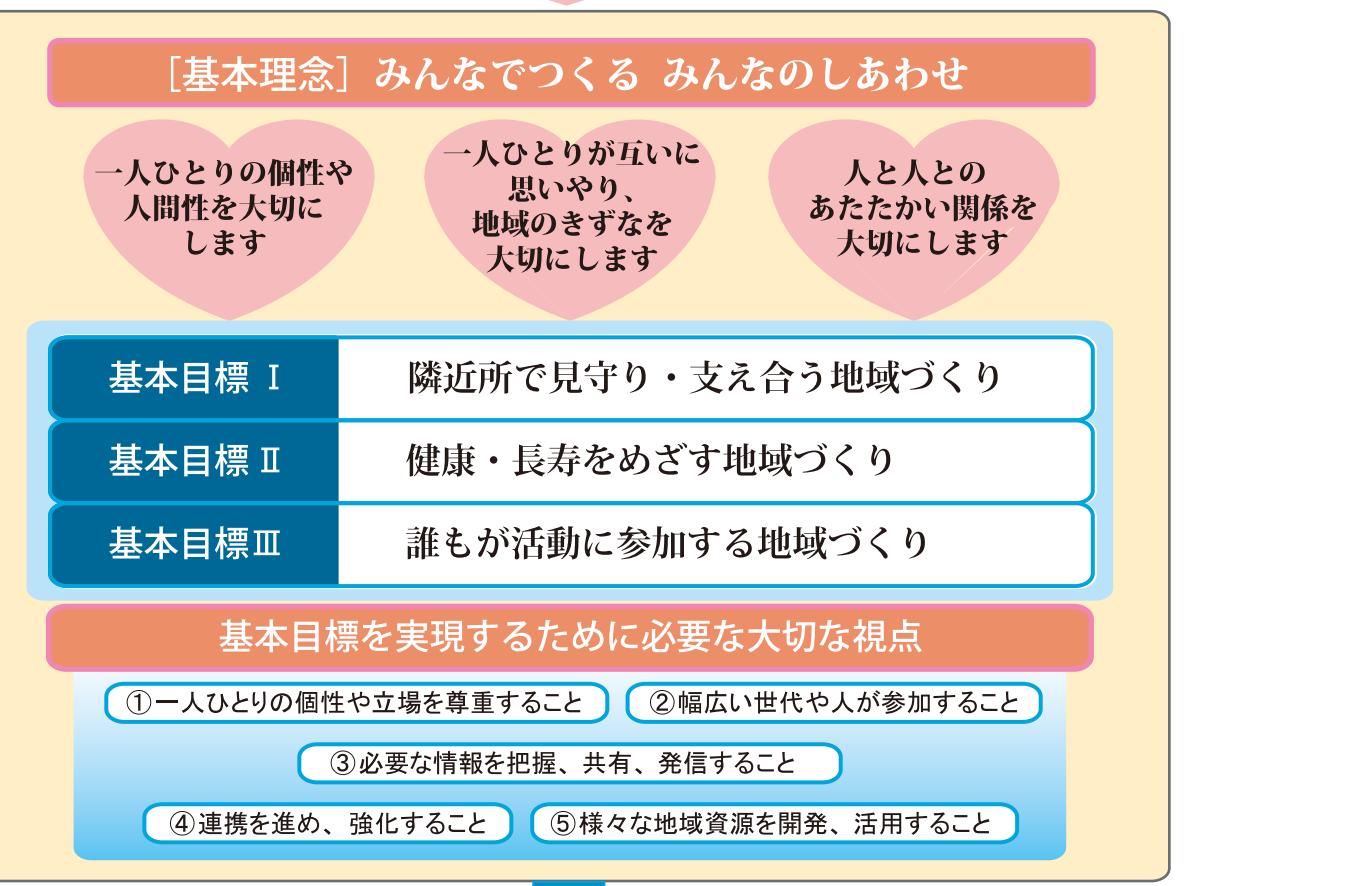
⑤様々な地域資源を開発、活用すること

活動を進める上では、新たに地域資源を開拓するほか、既存の資源を活用する視点も必要です。

様々な支援制度や既存の施設の活用など、地域の取組に応じて進みましょう。

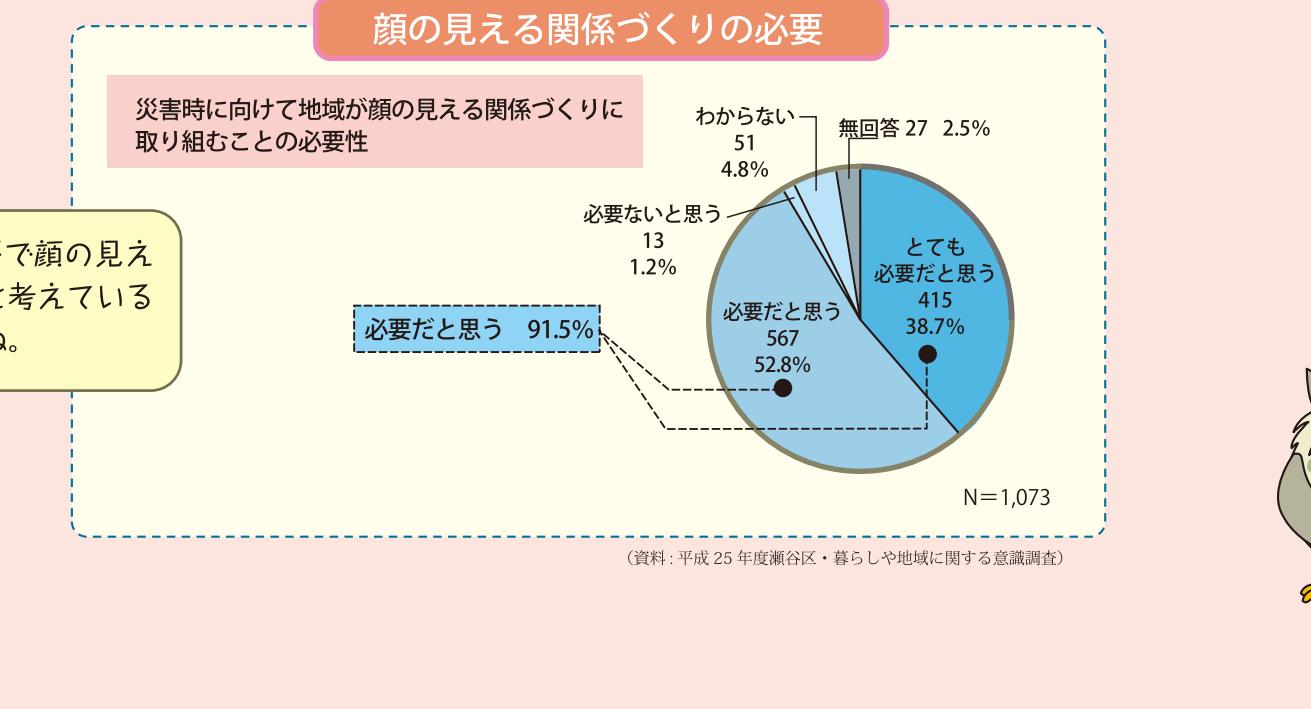


第3期 瀬谷区地域福祉保健計画 全体像



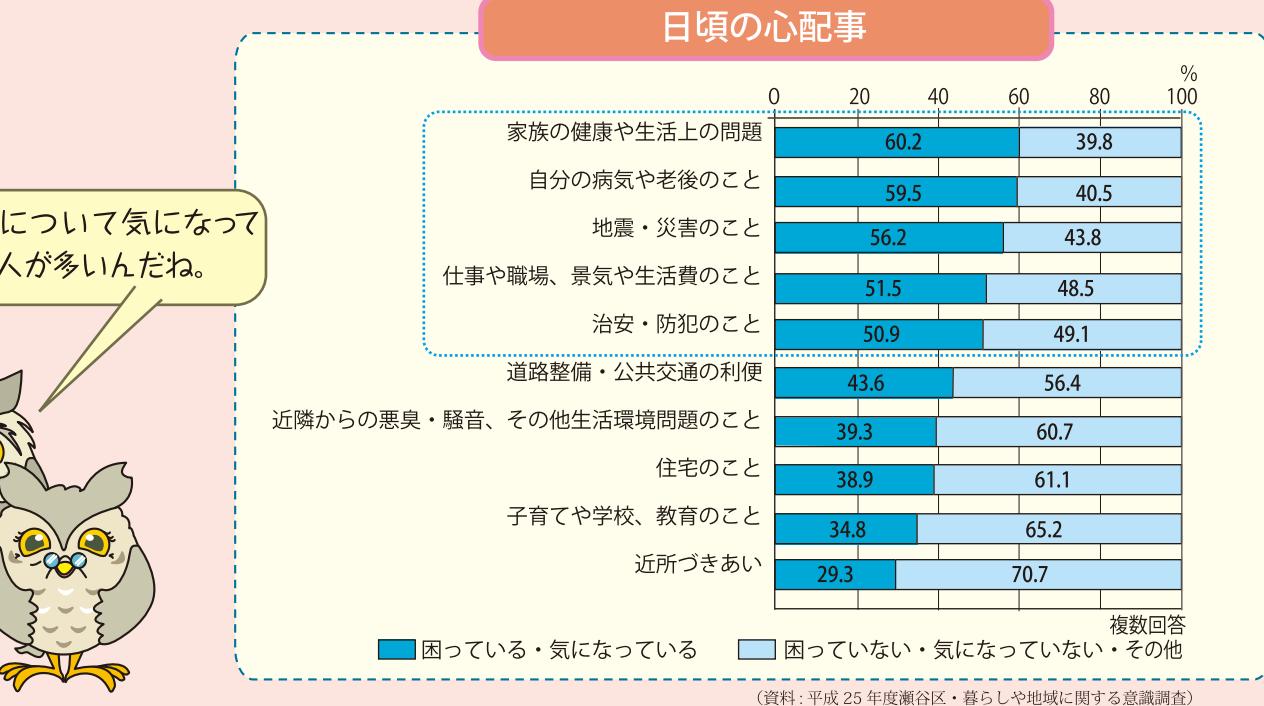
基本目標 I 隣近所で見守り・支え合う地域づくり

第3期計画では、地域で生じている、子育ての不安や介護負担の増大等様々な生活上の課題を、各地域に共通した課題としてとらえます。地域共通の課題を解決するため、多くの区民が必要性を感じている「隣近所等地域の見守りや支え合い・助け合いの取組」を軸とし、「暮らしやすいまちづくり」を進めていきましょう。



基本目標 II 健康・長寿をめざす地域づくり

誰もが自分らしくいきいきとした毎日をすごすためには、一人ひとりが健康であることが大切です。そのためには、生活習慣の改善等個人の健康意識の向上や、地域活動等人と人のつながりをつくる活動への参加が有効です。区民、団体、行政が連携して『健康づくり』に取り組み、「健康・長寿をめざす地域づくり」を進めましょう。



基本目標 III 誰もが活動に参加する地域づくり

地域での様々な取組が非常に進んできた一方で、担い手、参加者等誰もが一緒に声をも聞かれます。地域活動の担い手となるために有効な「きっかけづくり」や「情報提供」等を通じて、一人ひとりが持っている知識や経験を生かし、活動に関わることができますよう、人の輪を広げていきましょう。

